



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 JSP

コード番号 7942 URL <http://www.co-jsp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 耕三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小森 康

TEL 03-6212-6306

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	26,068	8.8	1,052	△28.7	1,254	△17.4	930	△11.9
25年3月期第1四半期	23,952	6.9	1,475	8.5	1,519	15.4	1,055	45.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,970百万円 (5.2%) 25年3月期第1四半期 2,822百万円 (58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	31.21	—
25年3月期第1四半期	35.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	98,661	56,015	52.9	1,748.97
25年3月期	95,565	53,431	52.2	1,671.55

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 52,145百万円 25年3月期 49,838百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	3.8	3,000	6.1	3,100	5.4	2,100	3.9	70.43
通期	101,000	5.2	6,500	42.1	6,700	36.0	4,300	29.4	144.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	31,413,473 株	25年3月期	31,413,473 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,598,260 株	25年3月期	1,597,875 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	29,815,395 株	25年3月期1Q	29,816,199 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高基調で推移し、企業の設備投資は持ち直しに向かう動きが見られ、個人消費も底堅く推移するなど緩やかな回復傾向が見られました。一方、世界経済は、米国では雇用や住宅市場に明るい動きが見られたものの、欧州では依然として財政緊縮と景気低迷が継続し、中国では経済の先行きにやや不透明感が見られました。

発泡プラスチック業界におきましては、円安及び原油高による原燃料価格の値上がりに対する製品価格是正が引き続き課題となりました。

このような経営環境の下において、当社グループは、持続的成長と将来の利益確保のため、成長分野への積極的投資を実施すると共に、独自技術に基づいた付加価値の高い製品の販売に注力しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、26,068百万円（前年同期比8.8%増）となりました。営業利益は1,052百万円（同28.7%減）、経常利益は1,254百万円（同17.4%減）、四半期純利益は930百万円（同11.9%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間に、当社の持分法適用関連会社であった日本アクリエース株式会社の株式を追加取得し連結子会社といたしました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりであります。

#### (押出事業)

産業用包材の発泡ポリエチレンシート「ミラマット」、ポリエチレン気泡緩衝材「キャブロン」は、国内産業低迷の影響を受け売上が減少しました。自動車部品や家電製品の通い函などに用いられる発泡ポリプロピレンシート「Pボード」は、新たな用途開発が進み売上が増加しました。主にトラックの積載品の保護に用いられる発泡ポリエチレン押出ボード「ミラプランク」の売上は前年同期並みとなりました。食品用包材の発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」は、堅調な需要に支えられ売上が増加しました。広告用ディスプレイ材や折材の発泡ポリスチレンシート「ミラボード」は、家電量販店の販売不振の影響もあり売上が減少しました。建築土木資材分野の主力製品である発泡ポリスチレン押出ボードの住宅用断熱材「ミラフォーム」は、新規住宅着工戸数の増加もあり売上が増加しました。なお、当第1四半期連結会計期間より日本アクリエース株式会社を連結子会社としております。

これらの結果、押出事業の売上高は9,054百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は431百万円（同29.9%減）となりました。

#### (ビーズ事業)

発泡ポリプロピレン「ピーブロック」は、主にバンパーコア材・内装材・シートコア材等の自動車部品のほか、IT製品輸送用通い函・家電製品用緩衝材・競技用グラウンド基礎緩衝材等に用いられており、世界各地で製造販売を行っております。日本国内では、自動車関連は、エコカー補助金制度の終了や対中国輸出の減少による需要減の影響は薄らいだものの、海外生産移転の進展により売上が減少しました。家電向け緩衝材は、メーカーの海外移転の影響により売上が減少しました。北米及びブラジルでは、自動車市場が引き続き好調に推移し売上が増加しました。欧州では、現地通貨での売上は減少したものの、円安の影響により売上は前年同期並みとなりました。アジアでは、自動車市場及び家電市場が依然高い成長を維持したことから、自動車資材及び家電包材緩衝材を中心に売上が増加しました。発泡性ポリスチレン「スチロダイア」は、水産・農業分野では、需要の減少に歯止めがかかり、建材・土木分野では売上が増加し、家電・その他分野では、家電メーカーの海外生産移転や内需の縮小等の影響により売上が減少しました。全体としては、昨年秋以降の原材料高騰に対応した製品価格是正の寄与もあり売上は増加しました。ユニットバス天井材に使用されているハイブリッド成形品「スーパーブロー」は、新モデルの需要が堅調に推移し売上が増加しました。

これらの結果、ビーズ事業の売上高は15,738百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は772百万円（同19.7%減）となりました。

#### (その他)

一般包材は、国内では家電市場の低迷により前年同期並み、中国ではデジタル家電向け包材の販売が低調であり、売上は減少しました。

これらの結果、その他の売上高は1,275百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失は18百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は98,661百万円で、前連結会計年度末に比べ3,096百万円増加しました。このうち流動資産は1,743百万円増加し、固定資産は1,353百万円増加しました。

負債は42,646百万円で、前連結会計年度末に比べ512百万円増加しました。このうち流動負債は1,203百万円増加し、固定負債は691百万円減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の純資産は56,015百万円、自己資本比率は52.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、増加要因である税金等調整前四半期純利益1,252百万円、減価償却費1,108百万円などに対し、減少要因である売上債権の増加897百万円などにより、差引き1,752百万円の収入(前年同期比179百万円増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出1,570百万円などにより、1,362百万円の支出(同514百万円増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増による収入523百万円に対し、長期借入金の返済による支出1,093百万円、配当金の支払額447百万円などにより、差引き1,163百万円の支出(同564百万円増加)となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ484百万円減少し、6,531百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想については頭書記載のとおりであり、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回開示から変更はありません。

なお、業績予想値は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,254	10,838
受取手形及び売掛金	28,820	30,441
有価証券	7	21
商品及び製品	5,894	6,325
仕掛品	787	801
原材料及び貯蔵品	3,651	3,761
その他	2,731	2,723
貸倒引当金	△263	△287
流動資産合計	52,883	54,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,952	12,278
機械装置及び運搬具（純額）	10,844	11,419
土地	13,972	14,090
その他（純額）	1,711	2,037
有形固定資産合計	38,480	39,826
無形固定資産	1,057	1,101
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799	1,729
その他	1,356	1,401
貸倒引当金	△12	△22
投資その他の資産合計	3,143	3,108
固定資産合計	42,682	44,035
資産合計	95,565	98,661

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,611	11,695
電子記録債務	1,144	1,053
短期借入金	6,398	7,075
1年内返済予定の長期借入金	5,209	4,978
未払法人税等	351	430
賞与引当金	1,015	582
その他	6,520	6,638
流動負債合計	31,251	32,455
固定負債		
長期借入金	8,818	7,947
引当金	1,123	1,173
その他	939	1,070
固定負債合計	10,881	10,190
負債合計	42,133	42,646
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,128	10,128
資本剰余金	13,405	13,405
利益剰余金	33,111	33,594
自己株式	△1,372	△1,373
株主資本合計	55,272	55,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	183
為替換算調整勘定	△5,573	△3,793
その他の包括利益累計額合計	△5,434	△3,609
少数株主持分	3,593	3,870
純資産合計	53,431	56,015
負債純資産合計	95,565	98,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	23,952	26,068
売上原価	17,292	19,692
売上総利益	6,660	6,375
販売費及び一般管理費	5,184	5,323
営業利益	1,475	1,052
営業外収益		
受取利息	61	48
為替差益	—	99
負ののれん償却額	30	—
持分法による投資利益	—	2
貸倒引当金戻入額	107	0
その他	84	112
営業外収益合計	284	262
営業外費用		
支払利息	52	44
為替差損	157	—
持分法による投資損失	6	—
その他	24	15
営業外費用合計	240	60
経常利益	1,519	1,254
特別利益		
固定資産売却益	6	7
特別利益合計	6	7
特別損失		
固定資産除却損	13	10
固定資産売却損	4	—
その他	2	—
特別損失合計	19	10
税金等調整前四半期純利益	1,506	1,252
法人税等	377	287
少数株主損益調整前四半期純利益	1,128	964
少数株主利益	72	34
四半期純利益	1,055	930

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,128	964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	44
為替換算調整勘定	1,760	1,960
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	1,693	2,005
四半期包括利益	2,822	2,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,541	2,755
少数株主に係る四半期包括利益	281	214

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,506	1,252
減価償却費	1,014	1,108
負ののれん償却額	△30	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	13
固定資産除売却損益(△は益)	11	2
受取利息及び受取配当金	△74	△57
支払利息	52	44
為替差損益(△は益)	△63	△14
持分法による投資損益(△は益)	6	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△219	△897
仕入債務の増減額(△は減少)	△344	495
たな卸資産の増減額(△は増加)	△186	△129
その他	106	173
小計	1,708	1,989
利息及び配当金の受取額	80	65
利息の支払額	△66	△47
法人税等の支払額	△151	△255
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,572	1,752
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,178	△1,570
固定資産の売却による収入	28	35
固定資産の除却による支出	△7	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	215
投資有価証券の売却による収入	—	0
定期預金の純増減額(△は増加)	195	126
その他	115	△165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△847	△1,362
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,396	523
長期借入金の返済による支出	△1,421	△1,093
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△447	△447
少数株主への配当金の支払額	△117	△136
その他	△10	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△599	△1,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	298	289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	423	△484
現金及び現金同等物の期首残高	5,976	7,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,399	6,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	押出事業	ビーズ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,416	14,070	22,487	1,464	23,952	—	23,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	213	115	329	12	342	△342	—
計	8,630	14,186	22,817	1,477	24,295	△342	23,952
セグメント利益	615	962	1,577	16	1,594	△118	1,475

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般包材の販売にかかる事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△118百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△118百万円とセグメント間取引消去0百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	押出事業	ビーズ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,054	15,738	24,793	1,275	26,068	—	26,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	195	99	294	60	355	△355	—
計	9,250	15,838	25,088	1,335	26,423	△355	26,068
セグメント利益 又は損失(△)	431	772	1,204	△18	1,186	△134	1,052

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、一般包材の販売にかかる事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△134百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△134百万円とセグメント間取引消去0百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。